

## 希学園 第408回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第408回公開テスト 小5理科 解説動画(2026年5月10日実施)	<a href="https://vimeo.com/1190673432/965f326f1d">https://vimeo.com/1190673432/965f326f1d</a>

1

(1)	5月	5 (整数指定)	日	(2)	ウ	(3)	ウ	(4)	ア
-----	----	-------------	---	-----	---	-----	---	-----	---

(5)	イ	(6)	エ	(7)	ア	(8)	ア
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

2

(1)	①	②
	ほくとしちせい 北斗七星	おおぐま (おおくまは不可) 座

(2)	①	②	③
	ほっきょくせい 北極星	2 (整数指定)	こぐま (こくま, 子ぐまは不可)

(2)	④と⑤	⑥と⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	か と き (順不同・完答)	す と せ (順不同・完答)	イ (完答)	エ	15 (整数指定)	6 (整数指定)

(3)	10 (整数指定) か月後
-----	------------------

3

(1)	①	②	③	④
	ア	ウ	イ	エ

(2)	①	②	③	④	⑤
	ウ	イ	ア	ア	ウ

4

① 共通点	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
	オ	イ	ウ	ク

② のぞく生物	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
	B	C	D	C

[配点] 1~3 各3点×28

4 各2点×8

1

- (2) もともと端午の節句であった5月5日がこどもの日に制定された。
- (3) ア. アサガオの葉    イ. イロハカエデの葉    ウ. カシワの葉    エ. サクラの葉
- (4) ア. ちまき    イ. ちらし寿司    ウ. ちくわ    エ. 肉まん
- (5) こどもの日にはこいのぼりを揚げる。
- (6) ブリは出世魚で、関西では「ツバス→ハマチ→メジロ→ブリ」、関東では「ワカシ→イナダ→ワラサ→ブリ」のように、呼び名が変わる。

2

- (2)⑧⑨ 地球が西→東へ1日に1回自転することにより、北の空の星は北極星を中心に反時計回りに1日に1回転ぶん動く。
- ⑩  $360 \text{度} \div 24 \text{時間} = 15 \text{度/時}$
- ⑪ 図から、く～せの北斗七星があ～きの北斗七星になるまで90度動いていることがわかる。 $90 \text{度} \div 15 \text{度/時} = 6 \text{時間後}$
- (3) 20時→0時が変わることで、 $15 \text{度/時} \times 4 \text{時間後} = 60 \text{度進む}$ 。
- 地球が1年に1回公転することにより、北の空の星は北極星を中心に反時計回りに1年に1回転ぶん動く。
- $360 \text{度} \div 12 \text{か月} = 30 \text{度/月}$      $60 \text{度} \div 30 \text{度/月} = 2 \text{か月前}$  → 3月10日の0時に、5月10日20時と同じ位置に星が見える。5月のあとの3月は、10か月後である。

3

- (1) 点Rで加熱すると金属の板は温められていき、その熱が金属の板を伝わっていく。
- ① 1番目にたおれるのは、点Rから最も近い図1のPになる。
- ④ 図3の点Pは、加熱した点Rと板がつながっていないため、熱がほとんど伝わらず、棒がたおれない。
- ②③ 5番目になる図2の点Pは、加熱した点Rから熱が大きく回りこむ必要があり、棒がたおれるのに時間がかかる。図1、図2、図3の点Qの点Rからの距離は同じだが、この3つを比較すると、表より図3が最も早い。このことから、加熱点からの距離が同じ場合は、板のはばが小さいほど熱が伝わりやすいことがわかる。2番目=図3の点Q、3番目=図2の点Q、4番目=図1の点Qの順に棒がたおれる。
- (2)① アルコールは液面からどんどん気体に変化し、酸素とまじると非常に燃えやすくなる。また、無色透明でにおいがある。
- ② 熱せられた空気は上方に向かうため、しんの真上から点火しようとするとき、やけどをするおそれがある。
- ③ 液量が少なすぎると、容器中にアルコールの気体がたまり、内部で爆発するおそれがある。液量が多すぎると、アルコールがこぼれやすくなり、危険である。
- ④ ふたをかぶせて酸素をさえぎることで消火する。息をふきかけると、その炎でまわりのものに火が燃えうつるおそれがある。水をかけると、アルコールが水にういて炎がまわりにひろがるおそれがある。
- ⑤ 木綿のしんがすい上げたアルコールを燃焼させる。しんの長さが短すぎたり先が焼けこげているとアルコールが十分にすい上げられず、炎が小さくなる。

4

- グループ1 … アシダカグモはあしが8本のクモのなかま、他はあしが6本のこん虫である。
- グループ2 … モンシロチョウはさなぎで、他は幼虫で冬ごしをする。
- グループ3 … タガメはさしてすう口、他はかむ口をもつ。
- グループ4 … ニホンミツバチはかむ・すう・なめることができるとても進化した口をもち、他はさしてすう口をもつ。